

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|----------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 8 36 | 言葉遣いが不適切であったり、馴れ合いの声掛けになってしまうことがある | ・接遇の改善 ・認知症の特性を理解した上での声掛けができるようになる | ・学習会の実施 (権利擁護、接遇、認知症について) ・ミーティングにて毎月振り返りの機会を持つ | 12ヶ月 |
| 2 | 52 55 | 居室、パブリックスペースが安全で清潔、居心地のよい空間となるよう環境整備が必要 | ・居室、共有空間の清潔保持 ・安全な居室、共有空間づくり | ・定期的な清掃とチェック ・各場所の危険箇所と本人の持っている能力を把握しながら環境づくりに活かす | 12ヶ月 |
| 3 | 25 | 入居者一人ひとりの力を活かすことができていない | 日々の食事作り等を入居と一緒にすることにより、力の発揮や、やりがい、楽しみの場面を生み出す | ・個々のニーズ、持っている能力の把握 ・ユニット会、ケアプラン作成時の話し合いとプランへの反映 | 12ヶ月 |
| 4 | 64 | 馴染みの人との関係の継続 | 互いの状況に合わせた関係継続のための支援ができる | ・手紙や電話など、状況に応じた支援をする ・面会時の状態報告の工夫(課題だけでなく良いことも報告する、等) | 12ヶ月 |
| 5 | 42 | 口腔ケアが不十分 | 個々のレベルに合わせた口腔ケアの実施 | ・口腔ケアの研修会への参加 ・入居者それぞれに合わせた道具の選定 ・リーダーを中心に実施状況をチェックする | 12ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。